

南高図書館だより

2023年11月号
浦和南高校図書館

図書委員のおすすめ本



『チポロ』

菅野雪虫 著 講談社

アイヌを舞台とした物語。狩りが弱く周りの子どもたちによくいじめられていた少年チポロは、いつも世話をしてくれていた、イレシュという姉のような存在がいた。しかし、イレシュは魔物につれていかれてしまう。イレシュを助け出すためチポロは勇気を出し北の最果ての港町へと向かう冒険ファンタジー。

👑 1年次図書委員ビブリオバトルチャンプ本

★シリーズ続編『ヤイレスーホ』・完結編『ランベシカ』も、図書館で所蔵しています。

『コンビニ兄弟 テンダネス門司港こがね村店』

町田そのこ 著 新潮社/新潮文庫nex

このコンビニ兄弟に登場する、フェロモン店長と言われている志波は、その職業が大好きな思いを持って働いていて、とにかく、お客さんを大事に、コンビニを居心地がいい空間にするために、陰で努力をしている人であり、コンビニによって人生が変わるというような本です。心を温めてくれる本です！ぜひ読んでみてください！

★既刊1～3巻、図書館で所蔵しています。



『日曜劇場『99.9』刑事専門弁護士 SEASON 1上・下』

宇田学 脚本 百瀬しのぶ ノベライズ 扶桑社/扶桑社文庫

松本潤演じる深山大翔は、お金にならない刑事事件ばかり引き受ける、貧乏弁護士。何度も、無罪を勝ち取っている実績を買われ日本四大弁護士事務所へヘッドハンティングされた。検察官は有罪確定の事件しか訴訟せず、無罪を証明できる確率は、たったの 0.1%。しかし深山は、『その 0.1%に真

実が眠っているかもしれない。』と諦めない。この小説は、いつも予想外な方法で事件を解決していきます。読んでいる最中も読み終わった後も楽しむことができる本です。

🔔 図書館からのお知らせ

👑 図書委員ビブリオバトル 結果発表

10/20(金)放課後に、1年次図書委員によるビブリオバトルを実施しました。4人前後の班に分かれて予選を行い、それぞれの代表による決勝の結果、今回のチャンプ本が次のとおり決定しました。

1年次図書委員チャンプ本：『チポロ』(菅野雪虫 著 講談社)



◆冬休みのお知らせ◆

冬休み中の図書館について

開館時間

8:30～16:30

貸出冊数

10冊まで (12/11(月)～冬休み中)

返却期限

●12/11(月)～12/27(水)貸出分 → 1/12(金)

●それ以降 → 貸出日の2週間後

冬休み中の開館スケジュール

日	月	火	水	木	金	土
						12/23
24	25	26	27	28	29	30
31	1/1	2	3	4		

☐ = 休館

予定は変わることがあります。最新情報は、南高図書館 HP で確認できます。



知識の本

まんぷくモンゴル！ 公邸料理人、大草原で肉を食う

鈴木裕子 著 産業編集センター

羊を解体して食べた翌日は、体の中から羊の匂いがする。水が少ないため、ゲルの台所には流しがない。保育園の給食のおばちゃんから在モンゴル日本国大使館公邸料理人に転身した著者が実際に体験した、モンゴルの食と暮らし。モンゴルごはんのコラムもあります。

数学の世界地図

古賀真輝 著 KADOKAWA

現役の高校教諭でユーチューバーの著者が高校生に向けて書いた、数学の世界を旅するガイドブック。今勉強している‘学校の数学’から、その先に広がる‘学問の数学’の世界へ案内する。

人とどうぶつの血液型

近江俊徳 編著 緑書房

人と動物の血液型は何かちがう？植物に血液型はあるの？そもそも、血液型って何だろう？知っているようで知らない血液型の不思議について科学的に解き明かす。目指せ、血液型博士！

自動運転レベル4 どうしたら社会に受け入れられるか

樋笠堯士 著 学芸出版社

自動運転「レベル4(ドライバーフリー)」を許可する道路交通法改正案が、2023年4月から施行された。運転手が車内にいないとき誰が事故の責任を負うのか等、実装のための課題は多い。自動運転の倫理、法、人々の安全性への期待度から、社会に受容されるための方策を考える。

ベトナムのまちごはんバインミー はさんでおいしいレシピ53

有我エリ 著 イカロス出版

バインミーとは、ソフトフランスパンに具材をはさんだサンドイッチのこと。絶対美味しい黄金ルールは、メインは甘辛味、歯切れのよいパン、なますでサッパリ、の三つ。パンはオススメ市販のものから手作りまで掲載。おいしいレシピは53。おうちでベトナムカフェ体験をしてみよう。

スマホアプリはなぜ無料？ 10代からのマーケティング入門

松本健太郎 著 河出書房新社

サービスは有料が基本であるはずなのに、どうしてスマホアプリは無料で使えるの？この疑問を通して、世の中を動かす「しくみ」である「経済」と「マーケティング」について学が入門書。

オタクと推しの経済学

牧和生 著 カンゼン

オタクは経済を支えている？AI時代にサブカルチャーはどう変わる？現在進行形で変わり続けるオタク文化とサブカルチャーを、経済学的視点から考察。難しい数式等は使っていません。

14歳からの映画ガイド 世界の見え方が変わる100本

河出書房新社 編 朝井リョウ〔ほか〕 著 河出書房新社

映画配信サービス等の普及により、気軽に映画を楽しめるようになった今だからこそ観てほしい作品を、様々な世界で活躍する25人(作家や映画監督、学者や脚本家 etc.)が、時代や知名度にとらわれずに幅広く紹介。あなたにとって特別な一本と出会えますように。

小説・文学

午後のチャイムが鳴るまでは

阿津川辰海 著 実業之日本社

そこそこの名門「九十九ヶ丘高校」の九月九日の昼休み、校内各所で様々な事件が勃発していた。午後のチャイムが鳴るまでに、全ての事件は解決するのか？五つの短編に散りばめられた伏線の回収も楽しい、「馬鹿馬鹿しいことに情熱を捧げる、愛すべき馬鹿どもの青春ミステリー」。

近畿地方のある場所について

背筋 著 KADOKAWA

オカルト雑誌に掲載するため、近畿地方の「ある場所」に関する話を収集する、ライターの私と友人の小沢くん。調べを進める中で小沢くんは消息を絶つ。情報を持つ人はご連絡ください…。

リラの花咲くけものみち

藤岡陽子 著 光文社

複雑な家庭環境のために不登校だった聡里だが、祖母の応援もあり、獣医師を目指して北海道の獣医大学に入学する。綺麗事だけではない獣医師の現実と向き合い、聡里は成長していく。

戦争日記 鉛筆1本で描いたウクライナのある家族の日々

オリガ・グレンニコフ 著 奈倉有里 ロシア語監修 渡辺麻土香、チョンソウン 訳 河出書房新社

戦争が始まった日、子どもたちの腕に名前と生年月日、電話番号を書いた。死んでしまっても身元がわかるように。二児の母親でもある絵本作家オリガ・グレンニコフによる、ロシアによるウクライナ軍事侵攻から地下室での避難生活を経て国外脱出するまでの日記。

文庫本

吸血鬼の原罪 天久鷹央の事件カルテ

知念実希人 著 実業之日本社/実業之日本社文庫

「天久鷹央の事件カルテ」シリーズ最新作。三つの場所で見つかった遺体は、全て首すじに二つの傷跡があり、全身の血がほとんど抜き取られていた。まるで「吸血鬼」の仕業のように。現役医師による本格医療ミステリー。

交換ウソ日記

櫻いいよ 著 スターツ出版/スターツ出版文庫

高2の希美は、移動教室の机の中で、人気者の瀬戸山からの「好きだ」と書かれた手紙を見つける。イタズラを疑いながらも返事を靴箱に入れ、二人の交換日記が始まるが…。2023年7月に公開された映画『交換ウソ日記』の原作。

ダンゴムシに心はあるのか 新しい心の科学

森山徹 著 山と溪谷社/ヤマケイ文庫

ダンゴムシに心はあるのか。答えは、「ある」。「心とは何か」という問いの答えに迫る科学者が、ダンゴムシへのさまざまな実験を通して、「心」の正体に接近する。